

2019年度 学校評価報告書

(自己評価・授業評価・学校関係者評価及び次年度方針)

2020年3月31日

大阪信愛学院小学校

学校評価委員会

はじめに

「学校教育法」「学校教育法施行細則」に基づき、2019 年度に実施した「学校評価」の内容をご報告致します。

1. 建学の精神

1877年、フランスからやってきた4人のシスターたちは町の中に棄てられた捨て子たちを養育することから始めました。それは「隣人を自分のように愛しなさい」というキリスト教精神です。弱い者、困っている者、傷ついている者、に手を差し伸べるという行為を実践したものです。

1884年、大阪の川口居留地に最初の女学校が創立されました。信愛に学ぶ生徒たちが信愛の精神を体得し、社会に貢献できる人間になること、愛と奉仕の精神をもった人間の育成を目指します。

2. 教育目標

カトリック精神にもとづく人生観をもたせ、豊かな心を養うと共に、物事を正しく判断して行動し、進んで国際社会に奉仕できる明朗で健康な人を育てることを目指します。

- (1) 魅力ある信愛教育を迫及する。
- (2) 生活態度を磨き、実践力を身につける。
- (3) 強い体と豊かな心を育む。
- (4) 基礎学力の定着と向上を図る。
- (5) グローバル社会で求められる力をつける。
- (6) 募集行事・広報活動の充実を図る。

3. 2019 年度(令和元年度)学校目標

- (1) 創立者についての理解を深める。
- (2) 児童が持っている力を最大限に伸ばす。
- (3) 効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。
- (4) 入試関連行事の充実をはかる。

4. 2019年度(令和元年度)学校目標と具体的方策及び評価指標

	今年度の重点目標	具体的な取組計画	評価指標
魅力ある信愛教育を追求する。	創立者についての理解を深める。	レーヌアンチエについての学びを深める。	創立者レーヌアンチエの生涯を知り、本学の建学の精神にふれさせる。
	感謝と思いやりの心を養う。	「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。	1年生から6年生の全児童がたてわり班に分かれて活動をする。ランチタイムを始め、清掃活動・奉仕活動などを進んで行い、いたわり・信頼・我慢する心を育てる。
生活態度を磨き実践力をつける	元気な挨拶や返事を励行する。	先生から児童へ、児童から先生へ、児童同士が元気な挨拶をするよう意識づける。	先生や友達、来校者に進んで挨拶ができる。
	「たてわり仲良し活動」で互いに尊重する心を深める。	たてわり活動を通し、助け合う心を育てる。	異なる学年のグループで、毎日の清掃活動や「たてわり仲良し活動」で仲良く活動する。
強い身体と豊かな心を育む。	基本的な礼儀作法や正しい姿勢を励行する。	正しい姿勢で、授業の開始と終了の挨拶をするよう意識づける。	休み時間と授業の区別をつけ、集中して学習に臨む姿勢を育てる。
	あきらめず最後までやり通す心を養う。	放課後などの時間を活用し、あきらめず最後まで課題をやり通すよう支援する。	学習で「わからない」をそのままにせず、「わかった」と思えるまで取り組む姿勢を養う。
基礎学力の定着と向上を図る。	持っている力を最大限に伸ばす。	男女共学に伴い、中学受験に対応できる学力を養う。	放課後学習・土曜学習・パワーアップ学習などを通して、個人に応じた指導をし、ひらめき・やる気・可能性を引き出す。
	効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。	基本的な使い方を習得させ、短時間で効果的な学習に活用させる。	タブレットを使った効果的な授業の研究をする。
グローバル社会で求められる力をつける	進んで英語学習に取り組む姿勢を養う。	英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。	毎日の家庭学習に英語学習を取り入れ、リスニング力を養う。
	異なる考えを柔軟に受け入れる心を育てる。	わがままをおさえ、友達の意見を最後まできけるように導く。	日々の学校生活の中で、何がわがままなのかを伝え、相手の立場になって考えられる児童に育てる。
広報活動の充実をはかる。	ホームページを効果的に活用する。	ホームページに日々の活動の様子を掲載し、教育活動への理解を深める。	ホームページのブログを利用し、日々の学校生活の様子を伝える。
	入試関連行事の充実をはかる。	オープンスクール、保護者のための体験教室の充実をはかる。	本校を理解し、入学希望者が増えるよう、それぞれの時期に適切な内容のオープンスクールを実施する。

5. 学校関係者評価

(1) 構成

教育会代表(会長・副会長)・小学校顧問・関係者(校長・教頭・担当)

(2) 開催

令和2年7月17日(金)午後1時30分～午後3時

(3) 評価のために使用した資料

自己評価の結果及びアンケート結果の分析

(4) 学校関係者評価委員会のまとめ

- ・信愛幼稚園保護者に対して信愛教育の良さを知ってもらう機会を増やし、信愛幼稚園からの入学希望者を増やしたい。
- ・「入学後、親がたくさんのことをみなしなければならないので大変だ」と思わせるのではなく「学校と家庭が協力して子どもをよりよく育てる」という意識を持って本校を希望してもらえるように、家庭での関わりの大切さを理解してもらい、手厚さを求める人が集まる学校にする。
- ・信愛の精神が好きな人を増やし、その人たちに入学してもらう。
- ・男女共学に対して、もっと強いインパクトが必要。
- ・卒業生に信愛教育の良さを語ってもらう機会を設けてはどうか。

6. 2019年度(令和元年度) 自己評価及び次年度の課題と改善策

<p>創立者についての理解を深める。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 レーヌ・アンチエについての学びを深める 〈活動実績と自己評価〉 創立者レーヌアンチエの生涯や精神についてしっかり学ぶ機会のあった学年と、その機会がない学年があった。</p>	<p>自己評価</p>
<p>〈次年度の課題と改善策〉 どの学年も、それぞれの発達段階に応じて創立者の精神を学ぶ機会をもつ。</p>	<p>C</p>
<p>感謝と思いやりの心を養う。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。 〈活動実績と自己評価〉 誕生日に校長からメッセージカードを受け取り、友達や先生からお祝いの言葉をもらい、自分が大切にされていることを感じる事ができた。</p>	<p>自己評価</p>
<p>〈次年度の課題と改善策〉 一人ひとりが自己肯定感を持てるよう、言葉がけを心掛ける。</p>	<p>B</p>
<p>元気な挨拶や判事を励行する。</p>	
<p>《具体的な取組計画》 先生から児童へ、児童から先生へ、児童同士が元気な挨拶をするよう意識づけをする。 〈活動実績と自己評価〉 生活委員会の児童が中心となり、校舎の入り口で朝の挨拶運動を実践した。朝は声が小さく、元気な挨拶が返せない児童がいた。</p>	<p>自己評価</p>
<p>〈次年度の課題と改善策〉 朝からしっかり声が出せるよう、門に立つ日直の教員が引き続き挨拶をし、児童の元気な挨拶を促す。</p>	<p>B</p>

「たてわり仲良し活動」で、互いに尊重する心を育てる。	
<p>《具体的な取組計画》 たてわり活動を通し、助け合う心を育てる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉ほとんどのグループでは仲良く協力しながら活動ができたが、たてわり活動のグループ構成で、高学年の人数が少なく、低学年の人数が多いため、低学年のわがままを抑えきれないグループがあった。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉</p> <p>リーダーだけでグループをまとめるのではなく、子ども会のリーダーである3年生や高学年の仲間入りをした、4年生もリーダーを支えるよう育てていく。</p>	<p>自己評価</p> <p>A</p>
基本的な礼儀作法や正しい姿勢を励行する。	
<p>《具体的な取組計画》 正しい姿勢で、授業の開始と終了の挨拶をするよう意識づけをする。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉お作法の時間に習う正しい姿勢で学習の始めと終わりの挨拶が定着しつつある。</p> <p>《具体的な取組計画》 マナーを守り、安全に登下校できるように指導する。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉大部分の児童が安全にルールを守って登下校できた。しかし一部の児童の態度が改善されず、家庭とも連絡をとり、引き続き指導が必要である。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉</p> <p>集団下校のルールを守り、全員が安全に登下校できるよう、日々指導していく。</p>	<p>自己評価</p> <p>A</p>
あきらめず最後までやり通す心を養う。	
<p>《具体的な取組計画》 放課後などの時間を活用し、あきらめず最後まで課題をやり通すよう支援する。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉</p> <p>課題がこなせず放課後に残ることができる児童は、その時間を利用し、やり遂げることができたが、家庭の都合で残れず、課題もやり終えることができない児童が課題をこなさなかった。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉</p> <p>粘り強く取り組めるよう、一人一人にあった方法を模索し実践する。</p>	<p>自己評価</p> <p>B</p>

自ら考える姿勢を育む。	
<p>《具体的な取組計画》新しい学習に対し、自分の知識を活用し、考えたり調べたりする習慣を身につけさせる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 めあてにそって、自分で問題解決を図る時間を確保し、それぞれの考えを出し合い、授業を展開することができた。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 ICT 機器を活用し、互いの考えをより効率的に分かち合えるようにする。</p>	自己評価 B
効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。	
<p>《具体的な取組計画》 基本的な使い方を習得させ、短時間で効果的な学習に活用させる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 高学年を中心にロイロノートの基本的な使い方を習得し、使いこなせるようになってきた。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 学校にある ipad の台数に限りがあり、使いたいときに使えないことがあった。2 年後の高学年一人一台保有からは、改善する予定。</p>	自己評価 B
進んで英語学習に取り組む姿勢を養う。	
<p>《具体的な取組計画》 英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 低学年のうちに家庭学習を習慣づけるために、『毎日の学習』に英語学習の保護者向けガイドラインを載せ、家庭との連携を図った。また、毎週の宿題チェックの時間に学習内容を振り返るテストを行い、児童が学習の成果を実感できる機会を設けた。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 低学年に対する取り組みは継続していく。高学年の課題については、家庭へ情報発信の場が少なかったので、学年通信を通して課題・学習方法についてもっと情報提供していく。</p>	自己評価 A

異なる考えを柔軟に受け入れる心を育てる。	
<p>《具体的な取組計画》 わがままをおさえ、友達の意見を最後まできけるよう導く。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 学級会活動や係活動などを通し、譲り合ったり、相手の立場になって考える機会を持つようにした。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 2時間目と3時間目の間に15分休憩をとり、今まで以上にみんなで遊ぶ時間を確保する。</p>	自己評価
	B
入試関連行事の充実をはかる。	
<p>《具体的な取組計画》 オープンスクール、保護者のための体験教室の充実をはかる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 オープンスクール、保護者のための体験教室は参加者の満足度が高く、受験につながっている。しかし、保護者のための体験教室は定員に制限があるため、募集人数を増やすことが難しく、より多くの方に学校に足を運んでもらえるような計画が必要。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 保護者のための体験教室を無くし、園児対象のオープンスクールの回数を増やし、入試関連行事への参加者の増加をはかる。</p>	自己評価
	B
ホームページの刷新をはかる。	
<p>《具体的な取組計画》 ホームページのブログによる発信の充実をはかる。</p> <p>〈活動実績と自己評価〉 行事については児童の様子を発信してきたが、普段の授業の様子を十分発信するまでには至らなかった。</p> <p>〈次年度の課題と改善策〉 こまめに学習の様子、日々の学校生活の様子を発信する。</p>	自己評価
	B

2019年度 学校評価アンケート結果 小学校 本校の取り組み(年度末)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまる	全くあてはまる
魅力ある信愛教育を追求する	創立者についての理解を深める。	レーヌアンチエについての学びを深める。	6	50	33	0
	感謝と思いやりの心を養う。	「神様が、人が、そして自分が好き」という思いを育てる。	22	72	6	0
生活態度を磨き実践力をつける	元気な挨拶や返事を励行する。	先生から児童へ、児童から先生へ、児童同士が元気な挨拶をするよう意識づける。	39	50	11	0
	「たてわり仲良し活動」で、互いに尊重する心を深める。	たてわり活動を通し、助け合う心を育てる。	78	22	0	0
強い身体と豊かな心を育む	基本的な礼儀作法や正しい姿勢を励行する。	正しい姿勢で、授業の開始と終了の挨拶をするよう意識付けをする。	50	44	6	0
		マナーを守り、安全に登下校できるように指導する。	39	55	6	0
	あきらめず最後までやり通す心を養う。	放課後などの時間を活用し、あきらめず最後まで課題をやり通すよう支援する。	33	61	6	0
基礎学力の定着と向上を図る	自ら考える姿勢を育む。	新しい学習に対し、自分の知識を活用し、考えたり調べたりする習慣を身につけさせる。	11	83	6	0
	効果的に ICT 機器を活用した授業を展開する。	基本的な使い方を習得させ、短時間で効果的な学習に活用させる。	22	67	11	0
グローバル社会で求められる力をつける	進んで英語学習に取り組む姿勢を養う。	英語の課題に、楽しんで取り組む姿勢を養う。	44	50	6	0
	異なる考えを柔軟に受け入れる心を育てる。	わがままをおさえ、友達の意見を最後まできけるよう導く。	28	72	0	0
募集行事・広報活動の充実を図る	入試関連行事の充実をはかる。	オープンスクール、保護者のための体験教室の充実をはかる。	39	50	11	0
	ホームページの刷新をはかる。	ホームページのブログによる発信の充実をはかる。	44	50	6	0

(%
)